

指定管理者による公の施設の管理運営状況

平成 30 (2018) 年度

施設名	栃木県みかも山公園
施設所管課	県土整備部都市整備課
指定管理者	みかも山公園指定管理グループ ・公益財団法人栃木県民公園福祉協会 (法人番号 9060005007605) ・栃木県公園事業協同組合 (法人番号 5060005007682)
指定期間	平成 26 (2014) 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 (2019) 年 3 月 31 日

1 施設の概要

施設所在地	栃木市岩舟町下津原 1 7 4 7 - 1
施設の概要	① 指定管理者による管理面積 1 6 5 . 9 h a ② 主要な施設 ハング・パラグライダー場、フラワートレイン、わんぱく広場、冒険砦、富士見台、みかもハーブ園、万葉庭園、三毳庭園、湿生植物園、カタクリの園、アズマイチゲの園、香楽亭、緑の相談所 等
業務内容	① 公園の維持管理に関する業務 ② 有料公園施設の利用の許可に関する業務 ③ 公園の運営に関する業務

2 収支の状況

平成 30 (2018) 年度

(千円)

収入			支出		
指 定 管 理 ※ 2	指定管理料	1 1 5 , 7 1 4	指 定 管 理 ※ 2	事業費	9 , 2 8 3
	利用料金収入	2 3 , 4 7 2		管理運営費	7 3 , 0 5 7
	その他収入※ <sup>1</sup>	1 , 6 1 6		人件費	5 0 , 9 2 5
	合計	1 4 0 , 8 0 2		その他支出※ <sup>1</sup>	7 , 7 5 0
指定管理業務収支差額①		▲ 2 1 3			
自主事業		1 8 , 8 6 8	自主事業		2 0 , 1 4 0
自主事業収支差額②		▲ 1 , 2 7 2			
収支差額 (①+②)		▲ 1 , 4 8 5			
備考 (※ 1 その他収入の主なものを記載) ・負担金 1 , 0 1 5 千円 ・利息 1 千円 ・雑収入 6 0 0 千円			備考 (※ 1 その他支出の主なものを記載) ・租税公課費 7 , 7 5 0 千円		

※ 2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

平成 29 (2017) 年度 (前年度)

(千円)

収入			支出		
指 定 管 理 ※ 2	指定管理料	1 1 5 , 7 1 4	指 定 管 理 ※ 2	事業費	8 , 7 5 1
	利用料金収入	2 4 , 5 3 7		管理運営費	7 6 , 6 4 8
	その他収入※ <sup>1</sup>	1 , 2 0 2		人件費	5 2 , 9 2 2
	合計	1 4 1 , 4 5 3		その他支出※ <sup>1</sup>	7 , 5 3 7
指定管理業務収支差額①		▲ 4 , 4 0 5			
自主事業		2 1 , 0 1 8	自主事業		2 2 , 4 7 9
自主事業収支差額②		▲ 1 , 4 6 1			
収支差額 (①+②)		▲ 5 , 8 6 6			
備考 (※ 1 その他収入の主なものを記載) ・負担金 9 0 1 千円			備考 (※ 1 その他支出の主なものを記載) ・租税公課費 7 , 5 3 7 千円		

・利息	1 千円	
・雑収入	3 0 0 千円	

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

### 3 利用状況

	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度
公園利用者	8 0 7, 1 1 7 人	7 6 7, 0 0 8 人

施設名 (利用料金施設)	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度
ハング・パラグライダー	1 7 人	2 5 人
モノラック	7 1 人	1 1 4 人
フラワートレイン	6 3, 3 1 6 人	5 8, 6 2 3 人
合計	6 3, 4 0 4 人	5 8, 7 6 2 人

施設名		平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度
緑の相談所	相談件数	7 0 件	5 8 回
	催し物回数 (延べ人数)	3 9 回 (2 8, 6 1 9 人)	3 8 回 (2 6, 2 2 8 人)
	講習会回数 (延べ人数)	3 4 回 (5 9 4 人)	3 7 回 (4 8 2 人)
香楽亭	講習会回数 (延べ人数)	2 9 回 (5 4 2 人)	3 4 回 (6 2 3 人)

### 4 サービス向上に向けた取組

#### (1) 基本テーマに基づいた管理運営

- ・動植物の貴重な生息環境を保護・保全するため定期的なモニタリングを実施し、確認できた野鳥や草花等は、緑の相談所で紹介した。
- ・遊具等の安全管理要領に基づき、日常点検・定期点検、修繕を実施した。
- ・三毳庭園、万葉庭園に植樹された樹木の種類に応じて、樹形を整える剪定や手入れを行い、庭園景観の維持に取り組んだ。
- ・緑の相談所では、公園の四季折々の自然に親しんでいただけるよう、「みかも山自然観察会」や「きのこ探検」、「野鳥観察会」、「親子で楽しむ森の工作」などを開催した。
- ・香楽亭では、「ラベンダークラフト」や「ハーブの日記念ランチ」「ソーパークーピング展」など、参加者が興味のある新しい内容の体験講座や展示会を開催した。
- ・三毳山が万葉集で詠われていることから、三毳山を題材にした短歌を募集し、優れた作品の表彰と応募作品の展示会、短歌講座を開催した。
- ・山野草の群生地や眺望スポットなどを巡るハイキングマップを作成し、来園者へ配布するとともに東京近郊のアウトドアショップやホームページで紹介した。

#### (2) 利用者満足度を高める管理運営

- ・「かたくりガイドウォーク」や「野外L I V E」、「コメディヨーヨーショー」などを企画した「早春の花まつり」を開催した。
- ・「ハーブ園ガイドウォーク」や「プチワークショップ」、「ハーブティー試飲会」などを企画した「みかもハーブフェスタ」を開催した。
- ・「草花の寄せ植え」や「秋のお茶会」、「パラグライダー体験」などを企画した「とちぎグリーンフェスタ 2 0 1 8」を開催した。
- ・香楽亭では、横浜薬科大学教授と連携し、薬草園を活用した「女性のための漢方」講座を開催した。また、関係機関と連携し、ハーブを活用した料理教室や化粧水づくりなどの体験教室を開催した。
- ・フラワートレインでは、運転手による車内アナウンスで花の見られる場所や公園イベントなどの情報をお知らせした。
- ・フラワートレインにおいて、「いちごトレイン」「鯉のぼりトレイン」「ハロウィントレイン」

等イベント装飾トレインを運行した。

- ・フラワートレインの個人リピーターやグループ利用者が割安になる回数券を発行した。
- ・フラワートレインにおいて障害者の利用に際しては無料とした。
- ・みかも山公園の魅力が堪能できるように、四季折々に「観察会」や「写真撮影会」を開催した。
- ・豊かな自然や歴史を楽しみながら健康づくりができるようにウォーキングコースを設定し、「とちぎ健康づくりロード」に登録し健康づくりに活用した。
- ・ホームページでは、常に最新の情報が掲載されるよう花情報やイベント情報の発信を行い、講座の申し込みができるようにした。
- ・東口広場に親子で楽しめるバッテリーカー広場を設置した。
- ・フラワートレインを利用すると香楽亭での買い物が割安になる「トレイン割」サービスを実施した。

### (3) 自然環境を保護・保全する管理運営

- ・里山として、自生するカタクリ・ニリンソウ・アズマイチゲ・キツネノカミソリなどの山野草の生育環境を保全するため、区域ごとに管理方針を立て管理に取り組んだ。
- ・環境保全の大切さを伝えるため、「自然観察会」、「野鳥写真展」、「栃木の昆虫と小さな生き物写真展」などを開催した。
- ・間伐に伴う植物発生材を施設補修や改良材として再利用した。
- ・ラベンダーの無料配布や、木の実を試食する講座「木を観て歩こうみかも山」の開催を通じて、自然の恵みを感じられるような機会を提供した。

### (4) 地域活動拠点として地域とともに生きる公園づくり

- ・みかも山公園・とちぎ花センター・いわふねフルーツパークと連携し、共通パンフレット「みかも山東エリアガイド」を作成したほか、共同で教育委員会へのプレゼンや佐野プレミアムアウトレットへのイベント参加等行った。
- ・愛パークとちぎ事業、私たちの花壇事業を推進し、地域住民、企業等が継続的に環境美化に取り組めるよう支援した。
- ・ハーブ園では、草むしりや花植えを行うボランティアを募集し、ともに管理に取り組んだ。
- ・地元茶華道協会との協働により、万葉庭園でお茶会を開催した。
- ・「三疊山大文字焼」、「万葉ゆず収穫祭」、「春のスイーツ&パンフェスタ in とちぎ」などの地域イベントにおいて、会場整備やイベントを共同開催し運営に協力した。
- ・栃木県緑の相談所友の会県南支部とともに「グリーンバザール」を開催した。

### (5) 効率的・安定性のある管理運営

- ・管理グループの各構成団体の得意分野を活かして、施設管理・緑地管理等の多岐に渡る業務を適切に役割分担することで効率化と安定化を図っている。
- ・ご意見箱、電話、メール等により利用者の意見を受付けた。
- ・苦情内容を全従業員に周知徹底させ、原因究明と再発防止に向けて取り組んだ。
- ・公園管理運営士など公園管理運営技術に関する有資格者を配置した。
- ・災害発生時のマニュアルを作成し、来園者の避難誘導等安全確保に努めた。
- ・巡回による安全確保と防犯を徹底している。
- ・一括契約、一括購入により経費削減を図った。
- ・スタッフを対象に作業機械の取り扱い講習、現場でのKY活動研修、普通救命講習、スキルアップ研修等を行った。

### (6) 施設利用提供の実施計画

- ・休園日を設けず年間を通して開園した。併せて管理事務所も開所した。
- ・春休み期間には、施設の休業日を設けず、緑の相談所、フラワートレイン、香楽亭の臨時営業を行った。
- ・近隣市町、観光施設等と連携した観光情報や花、緑に関するイベント情報を発信した。

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法				
<ul style="list-style-type: none"> <li>管理事務所に意見箱を常時設置し、ご意見票を回収 回収件数 99件</li> </ul>				
主なご意見票の項目	良い	良い方	あまり良くない	悪い
公園内はきれいでしたか	50.6%	41.9%	3.2%	4.3%
公園の管理状況はいかがでしたか	50.6%	40.7%	6.2%	2.5%
花壇や樹木などの植物の管理状態はいかがでしたか	51.8%	43.5%	3.5%	1.2%
スタッフの対応はいかがでしたか	63.0%	33.3%	1.2%	2.5%
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページで意見を受付</li> <li>イベントや緑の相談所の講座の参加者へアンケート調査を実施</li> <li>みかも山公園連絡協議会を開催し、意見・要望を聞き取り</li> </ul>				
主な利用者意見（苦情・要望）		対 応		
<ul style="list-style-type: none"> <li>草刈り時に、これから咲くユリの花を刈ってしまったのは残念。</li> <li>フラワートレインの料金が高い。</li> <li>ハーブ園にオルゴールがかかっているが、鳥の鳴き声や風の音を楽しみたいので、やめられないか。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>草花周辺の除草には、より一層注意し、丁寧な作業に努める。</li> <li>乗車料金については、近隣同種の施設を参考に検討する。</li> <li>演出に必要なものだと考えているので継続するが、音量については調整するようにする。</li> </ul>		
主な利用者意見（積極的評価）				
<ul style="list-style-type: none"> <li>素晴らしい。また来る。</li> <li>山なので斜面がきつかったが、いい運動になった。</li> <li>子どもも楽しめていい。</li> </ul>				

6 指定管理者による自己評価

成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページにカタクリ等花の開花情報を適時掲載し、内容を充実させた。</li> <li>コンソーシアムを組んで公園を管理していることで、枯損木処理や施設修繕、突発的に発生した倒木などの事案に対して迅速に対応することができた。</li> <li>危険木の早期発見に努め、202本の危険木を処理することができた。</li> <li>香楽亭体験講座案内を作成し、県内外の公民館等へ送付し誘客に取り組んだ結果、県外からの利用者也増加した。</li> <li>香楽亭の体験講座を見直した結果、参加者アンケートでご意見をいただいたため、次回の講座開催に向けて講師等と改善の打合せを行い、内容の充実につなげた。</li> <li>ハーブフェスタ開催時に佐野プレミアムアウトレット・あしかがフラワーパーク利用者に対しソフクリーム無料券付特別チラシを配布し新たな誘客に繋がった。</li> <li>ハイキングマップを改訂し携帯しやすいサイズへ変更するとともに、東京近郊のアウトドアショップへ配布し集客に取り組んだ。</li> <li>施設や遊具の点検で確認された不具合の修繕に努め、事業計画以上の修繕を実施した。</li> <li>フラワートレインは、致命的な故障を防ぐために、点検指摘事項の早期改善と計画修繕を行った結果、良好に運行することができた。</li> <li>三毘庭園・万葉庭園・ハーブ園の景観維持と魅力向上を目標に、事業計画よりも多く除草や樹木</li> </ul>

<p>剪定を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハーブ園に専属スタッフを配置したことで、以前よりも効率的にハーブの育成、除草に取り組むことができた。ハーブボランティアの育成、組織化にも繋がった。</li> <li>・来園（登山）の思い出やお土産として、「三轟山の山パッチ」を製作・販売しており、好評を得ている。</li> <li>・低山の特性を生かし「ビギナー向け登山教室」を開催し、新たな公園利用の契機となった。</li> <li>・遊具の日常点検講習会を実施し、安全点検及び老朽施設の迅速な修繕を行った。</li> <li>・利用者の利便性向上のため、わんぱく広場に飲料水の自動販売機を追加設置し好評を得た。</li> <li>・ハング・パラグライダー場のPRと利用促進を図るため、みかも山ハング・パラグライダークラブと「パラグライダー地上体験イベント」を開催し、参加者に喜ばれた。</li> <li>・公園内の巡回や施設の日常点検を行い、危険箇所や不具合箇所の早期発見、対応に取り組んだ。</li> </ul>
<p>公園の特性を生かした管理運営に向けた取組 ※指定管理者が独自に設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カタクリ・ニリンソウ・キツネノカミソリ・ヒガンバナなどの群生地は、みかも山公園の自然が織りなす花空間として整備するため、開花シーズンに向けて年間計画を立てて作業を実施した。</li> <li>・カタクリの園では繁殖するキツネノカミソリの球根を抜根し、カタクリ群生地の環境保全を行い、大田和群生地ではキツネノカミソリを保護しカタクリとの共生エリアとして管理を実施した。</li> <li>・絶滅危惧種アトトンボの生息が確認され、生息域の保全に配慮した草刈りを行った。</li> </ul>
<p>今後改善・工夫したい事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カタクリの園では、近年、キツネノカミソリが増え始め、カタクリの育成を阻害しているのでキツネノカミソリの抜根に取り組む。なお、当該エリアは、毎年多くの方が訪れる地域の観光スポットでもあることから、ボランティアに協力を働きかけ、一緒にカタクリ群生の保全に取り組んでいきたい。</li> <li>・松くい虫による枯松が多いので巡回監視を行い、処理に取り組む。伐採したエリアの森の再生について県と協議検討して行きたい。</li> <li>・三轟庭園、万葉庭園は、散策利用の他、写真撮影としても利用されていることから、定期的に樹形を整える剪定や手入れを行い、庭園景観をより良く維持したい。</li> <li>・管理作業員の作業事故防止のため、現地での研修の他KY活動を実施し事故の防止に努める。</li> <li>・特定外来生物であるクビアカツヤカミキリが園内で確認されたため、被害拡大防止に努め巡回監視業務を強化する。</li> <li>・愛パークボランティアへの参加団体を増やし、活動を推進するため、活動に参加した際に香楽亭で使用できる特別割引券を配付する。</li> <li>・ハーブ園の除草等手入れをするボランティアが活動しやすくなるように、愛パーク登録を行った。今後も参加しやすい環境づくりに取り組む。</li> </ul>

## 7 所管課室による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の平等利用の確保	①住民の平等利用が確保されたか。	適切に実施されている。	C
	②使用許可に関する権限が適正に行使されたか。	所定の手続きに則り、適正な許可が行われている。	C
	③高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか。また、平等利用が確保できない場合の対応は適切か。	フラワートレインの利用料金は、障害者手帳の提示することで免除を行っている。また、坂道が多いため、自由に使用できる杖の貸し出しを行っている。	C
2. 施設の効用の最大限発揮	①施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか。	施設の設置目的に沿った管理運営が適切に実施されており、日常点検・定期点検の結果も記録されている。	C
	②施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか。	アンケート結果を参考にした体験事業における新規イベントの開催や、わ	

		んぱく広場への自動販売機の追加、また、西ルートへの園路沿いにベンチを設置するなど県民サービスに努めた。	B
	③利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか。	満足度は平年並みであった。	C
	④利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか。	要望、苦情に対して適切に対応しており、その記録が保管されている。	C
	⑤施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか。	施設利用の注意喚起不足により、ふわふわドームで事故が1件発生している。 公園内に膨大な樹木が存在するが、工事の補助や事故の未然防止のために伐採を実施した。	D
	⑥指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか。	一昨年起きた飛び石事故の対策として、草刈機の工夫や除草剤の使用範囲拡大など改善対応した。 ハーブ園の管理ボランティアを組織化し、愛パーク登録を行うことで、ボランティアを行いやすい環境を整えた。	B
3. 管理を安定的に行う物的人的基礎	①組織体制は適正か。	当該業務をおおむね適正に遂行できる組織となっている。	C
	②収支は適正でバランスがとれたものか。	おおむね適正である。	C
	③経費の縮減に取り組まれてきたか。	事業計画書どおり多目的、多用途に従事するスタッフを配置し人件費を削減するとともに、消耗品費等の節約に取り組んでいると認められる。	C
	④人材育成は適切に実施されているか。	公園管理に必要な資格の取得や技術の向上のため、事業計画書に基づいた研修を実施した。	C
	⑤危機管理体制（事故、緊急時の対応）は確保されているか。	事故発生時には、速やかな対応・報告を実施しており、異常気象時においても、迅速に安全点検を実施して報告している。	C
	⑥県や関係機関との連携体制は確保されているか。	県や関係機関と連携し、管理運営を行っている。	C
4. 個人情報保護	①個人情報の保護についての措置が計画どおり実施されているか。	個人情報の保護に関する要領を定め、適切に保護をしている。	C
	②情報公開は適切になされているか。	情報公開事務処理要領を定め、適切に運用をしている。	C
5. その他	①施設の特徴にふさわしい自己評価がなされているか。	自己評価の改善が見られた。改善内容も評価できた。	B

②自主事業が計画どおりに実施されているか。	イベント、売店などの自主事業を、おおむね計画どおり実施した。 また、主催者の都合により急遽展示が中止になった際には、公園で所管している写真を展示し、展示が無い期間を作らないよう努めた。	B
③イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られているか。	積極的に近隣施設や栃木市と協働し、DC開催に併せ春のスイーツパンフェスタなどのイベントを開催した。	C
④環境への配慮（騒音・公害対策、ごみ削減等）がなされているか。	公園利用者にはごみの持ち帰りをお願いし、ごみ削減等に努めている。	C
⑤その他管理運営上の特記事項	フラワートレインの老朽化が進み多大な修繕が必要となっているが、適宜運行スケジュールを見直し、迅速な修繕を実施するなど工夫している。 また、「香楽亭だより」による体験事業の周知や、ソフトクリーム無料券がついたチラシをアウトレット等で配布するなど、積極的に西口エリアの周知を図った。	B
総合的な評価		
<p>猛暑により全体的な利用者数は減となったが、全般的におおむね良好な管理運営状況である。利用者の要望に迅速に対応するとともに、創意工夫のあふれるイベントを多数実施しており、利用者の満足度の向上に貢献しているものと考えられる。また、近隣施設と協力したサービスの実施や、売店の営業期間を延長する等、ニーズに対応した公園の魅力向上のための取り組みを行っている点や、過去の事故を踏まえ再発の無いよう環境の改善を行ったことが評価出来る。</p> <p>今後とも利用者の安全を確保するとともに、利用者の新たなニーズを開拓して行ってほしい。</p>		

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A：事業計画に対して極めて優れた取組となっている。
- B：事業計画に対して優れた取組となっている。
- C：事業計画どおりの取組となっている。
- D：事業計画に対して劣る取組となっている。
- E：事業計画に対して極めて劣る取組となっている。